



参院比例5議席、選挙区の「オール沖縄」 那覇市議選挙6人必勝へ

小池晃書記局長が応援



那覇市議選 3つのモノサシ

第1「物価高騰から市民の命とくらし守るのはどの党か」

第2「戦後80年、戦争の心配のない平和な沖縄をつくる
大軍拡の石破政権にノーの審判をくだす」

第3「デニー知事を支えるオール沖縄の前進をつくる選挙」

7月20日投票が見込まれる参院選での比例5議席確保、沖縄選挙区での「オール沖縄」必勝と、同日投票の那覇市議選必勝へ向けて、6日、演説会を開きました。小池晃書記局長、白川よう子比例予定候補、那覇市議選で再選を期すフルゲン茂治、ワク川朝渉、我如古イチロー、マエダちひろ、西中間ヒサエ、上原やすおの6市議らがそろい踏みしました。

那覇市議選をめぐる、小池氏は「3つのモノサシ」をあげました。第1は、「物価高騰から市民のいのちと暮らしを守るのはどの党か」です。

市民の要求に沿って学校給食無償化を実現した共産党市議団の実績と、(1)全世帯と子ども食堂へのお米券の配布(2)困窮家庭の水道料金減免、電気・ガス・ガソリン代の補

助(3)国保税1世帯1万円の減税(4)低所得者への家賃補助―を、補正予算を編成して緊急に行うよう提案したことを紹介。「6人全員勝利で、ぜひ実現を」と力を込めました。

第2は、「戦後80年、戦争の心配のない平和な沖縄をつくる、大軍拡の石破政権にノーの審判をくだす」ことです。

小池氏は、民意を踏みにじり、知事の権限を奪う「代執行」で強行している辺野古新基地建設は、大浦湾側の超軟弱地盤の改良がいつ終わるかも見通せず、今年度末で埋め立てが終わるのは全体の17.5%なのに、予算の8割を使ってしまふなど「工期の面でも、予算の面でも破たんしている」と指摘。「反戦・平和をつらぬく共産党の6人勝利で、辺野古新基地ノー、『戦争への道』をすすむ石破政権はノーの審判をくだそう」と呼びかけました。

第3は、「玉城デニー知事を支えるオール沖縄の前進をつくる選挙」です。

小池氏は、自民は大量立候補を狙っており、参院選勝利と「オール沖縄」県政の転覆につなげていく狙いだと指摘。「オール沖縄」の要である共産党6人全員勝利で、来年

の知事選、那覇市長選勝利の力にしていこう」と訴えました。

小池氏は最後に、「那覇市議団の値打ち」をあげました。市民の要求に応え、粘り強く取り組んで実現させた実績として、(1)中学卒業まで無料になった子ども医療費。1972年、共産党の瀬長フミ市議が県内で初めて取り上げ、一歩ずつ拡充させてきた(2)男性・女性で差別しない社会づくり。全国2番目のレインボー宣言と5番目のパートナーシップ登録制度を実現させた(3)2021年から高齢者の補聴器購入補助が実現―などを紹介。政治とカネの問題で、市有地をめぐる贈収賄事件で自民党議長の辞職や真相究明を真っ先に要求。市議の後援会の政治資金報告書への不記載や、知念覚市長の政治資金パーティー券を市職員に販売していた疑いなども明らかにしたことにつれま

した。そして、辺野古埋め立てを承認した仲井真弘多元知事の裏切りに「いまこそ保守・革新をこえ、建白書で団結しよう」と呼びかけたのが共産党那覇市議団だと述べ、6人全員勝利を重ねて訴えました。

基地なくせば発展

那覇市新都心地区は米軍基地を返還させてできた街です。雇用は基地時代の200倍、税収は45倍に増えており、基地をなくせば沖縄は確実に発展します。

日本共産党の勝利で米軍那覇軍港、航空自衛隊那覇基地を無条件返還させましょう。辺野古新基地を断念させるため「オール沖縄」の先頭に立ちます。今年は戦後80年、沖縄戦から80年です。

フルゲン茂治候補



戦争の痛苦の反省からできた憲法9条を破り、沖縄を再び戦場にしようとしているのが自公政権です。「命どう宝」、沖縄の心をひとつにして怒りの審判を下そう。

「政治とカネ」を追及

市民の身近な相談相手として、保育所待機児童の解消や学童クラブの充実、子ども医療費の無料化、特別養護老人ホームの増設、市営住宅の建て替えを実現してきました。

ワク川朝渉候補



市有地を巡る贈収賄事件で自民党前議長の辞職などを真っ先に要求しました。市の幹部が知念覚市長の政治資金パーティー券を販売した疑いなど、企業・団体献金を受け取らない共産党だから「政治とカネ」問題を徹底追及できました。

労働者の待遇を改善し、子どもや高齢者に優しい政治

を、とのみなさんの願いを今後も議会に届けます。

公共料金 減免要求

物価高が市民の暮らしを直撃する中、市議団は全世帯と子ども食堂へのお米券の配布、困窮世帯への公共料金の減免など市独自の対策を市長に要請しました。日本一の出勤回数となっている救急隊は9隊に増大させました。市民の生命・財産を守るためがんばります。

我如古イチロー候補



国民健康保険税は国の交付制度の欠陥により沖縄だけが大きな赤字となっています。那覇市では10億円規模の繰り入れをさせ、値上げをストップさせています。暮しに安心とゆとりを、全力でたたかいます。

就学援助を増額

経済的な理由で学ぶことを諦めさせない。就学援助制度を増額させ、卒業アルバム代も追加させました。もっと多くの家庭が受けられるよう制度を広げたい。

マエダちひろ候補



多くの女性のみなさんと一緒に市内の小中学校や公共施設への生理用品の設置を求めています。選択的夫婦別姓・同性婚を実現させ、ジェンダー平等社会を一緒に実現しましょう。

性暴力事件、その隠ぺいも絶対許せません。二度と被害者を出すわけにはいきません。基地のない平和で豊かな沖縄の実現とともに頑張っていきましょう。

障がい者 安心社会へ

障がいのある人もない人も安心して暮らせる社会へ3期目をめざします。福祉の心ひとすじに要求実現のため頑張ってきました。

西中間ヒサエ候補



2年前の台風襲来で大規模な停電が発生しました。人工呼吸器を使用して生活している医療的ケア児にとって、電源の確保が命綱となります。「命を守る支援策を」と議会に声を届け、那覇市でポータル電源が補助対象として支給されることになりました。

中学給食を無償化

那覇市ではこの4月から中学校の給食費が完全無償に、小学校は半額になります。こんなことできつくないと言っていた自民党や後ろ向きだった市長を追い詰め、実現しました。

日本共産党が玉城デニー県政と力を合わせ、十数年にわたる党の頑張りと市民の運動で市政がうごきました。次は小学校の完全無償化をめざしていきます。

上原やすお 候補



那覇市は高齢者の補聴器購入補助を県内で初めて実現し、これも共産党の頑張りが実を結びました。子供からお年寄りまで安心して暮らせる那覇市づくりへ全力をあげます。